

会派視察報告書

会派の視察における結果について、下記のとおり報告します。

平成29年12月13日

光市議会議長 木村信秀 様

光市議会 会派「彩り」 森戸 芳史
笹井 琢
田中 陽三
仲山 哲男

1 視察年月日 平成29年11月20日(月)から
平成29年11月21日(火)まで

2 視察先 福岡県豊前市 (人口2万5000人 面積111km²)
福岡県鞍手町 (人口1万6000人 面積35km²)

3 視察テーマ
「うみてらす豊前」と漁業後継者対策
道の駅「おこしかけ」と宅配サービス
廃校舎の活用(撮影スタジオくらて学園)

4 視察結果 別紙のとおり

光市議会会派「彩り」視察報告書

日時	平成29年11月20日(月)10時～12時
視察先	福岡県豊前市宇島76-31 うみてらす豊前
対応者	豊前市役所水産振興係長 常磐成美 地域おこし協力隊 東里美 豊前市議会事務局次長 三善晋二
テーマ	「うみてらす豊前」と 漁業後継者対策



事業の経緯

(豊前市には漁港はあったが、セリ場は無かった)

平成21年 漁師食堂「うのしま豊築丸」開設

平成25年 うみてらすの基本設計

平成28年6月 うみてらす オープン

建設費は3億2519万円

うち水産庁交付金(産地水産業強化支援)1億1397万円

内閣府交付金(地方創生先行型事業)1923万円

平成28年12月 地域再生法に基づく地域再生計認定

施設の概要

豊築漁業協同組合による指定管理(指定管理料0円)

(正組合員139名+准組合員53名=192名 うち60歳以下は40名)

木造2階建てで市有林を積極的使用 駐車場は40台

1階 新鮮な魚介類を漁師毎の水槽で活かして販売

漁師による対面販売もあり(その場でやる)

販売額に応じて手数料を漁協に支払う

2階 漁師食堂「うのしま豊築丸」

豊前海の四季の幸を季節替り定食にして提供

浜焼き小屋 バーベキューコンロ付休憩所として活用

旧：漁師食堂 現：浜焼き小屋



漁師毎の水槽(活魚や蟹)



ガラス張りの加工室



事業効果

- ・オープン1年目は目標を上回る売り上げがあった。
- ・市外からの来客多数(近隣はもとより北九州・福岡・筑豊方面)
- ・新たな雇用創出(1階10人、2階20人) 漁師の家族が中心で世帯所得が向上
- ・地元ブランドの発信強化(豊前本ガニ(ガザミ)、豊前海一粒かきなど)
- ・規格外、雑魚類の加工品開発(鰻タンポ、鰻バーグなど)
- ・地域おこし協力隊を活用している。豊前市全体で6名。
うち水産業企画宣伝発信が1名、新規漁業就労(カキ漁師)が1名

所感と光市政への反映

- ・光の漁協はセリ場を持つことを考えると、漁師による直接販売は困難が予想されるが、将来的な取り組みとしては有効と思われる。

光市議会会派「彩り」視察報告書

日時	平成29年11月20日(月)13時～15時
視察先	福岡県豊前市四郎丸1776-5-2 道の駅「おこしかけ」
応対者	豊前市役所観光振興係長 朝倉 亮 観光振興係 中根 慶 ぶぜん街づくり会社 駅長 井上貴博
テーマ	道の駅「おこしかけ」と 宅配サービス



事業の経緯

- 平成3年 豊前JCによる日本一トイレづくり運動
- 平成12年 道の駅「おこしかけ」開業 建設費9.2億
- 平成28年 東九州自動車道路が開通
(前年度対比で売り上げが30%減少)
- 平成28年 宅配サービスをスタート



事業の概要 道の駅「おこしかけ」

指定管理団体(ぶぜん町づくり会社)による管理。スタッフは19名(宅配事業含む)レジ通過者はピーク時40万人あったが、現在は25万人に減少した。農産物は全て地元産、加工品は地元業者の持込み。食堂や物販の出店コーナーあり。販売手数料は15%、生産者が持ち込み残れば持ち帰る。運営費補助なし。利益が上がれば町へ寄附する。リピーター確保するため、お米会員4000人を確保した。



事業の概要 宅配サービス

注文は2000円以上からで、配送料無料。
宅配サービスについて、町からの公費支出はない。
市内在住者の登録制度。現在登録者は100人、うち継続的利用者は50～60人。
電話かFAXで注文。午前中に注文あれば午後届ける。火曜・木曜は配送休み。



質疑応答

- ・ 宅配サービスを始めた理由は？ 地元客の確保。
- ・ 宅配サービスの収支は？
売上は1月20万円程度、まだ採算ラインにない。
- ・ 宅配サービスの課題はあるか？
常備してない肉類やトイレトペーパーの注文。

事業効果

- ・ 道の駅の業務の多角化。
- ・ 高齢者世帯へ生活サービスを提供している。

所感と光市政への反映

- ・ 市民ニーズと陳列商品のミスマッチ解消が課題である。
- ・ コンビニ、チェーンスーパー、生協等の宅配サービスとの優劣を見極める必要あり。

光市議会会派「彩り」視察報告書

日時	平成29年11月21日(火)10時～12時
視察先	福岡県鞍手町大字新北 くらて学園
対応者	鞍手町役場地域振興係長 柴田隆臣 地域振興係主査 堀康治 くらて学園理事 寺田文武 鞍手町議会議員 田中二三輝
テーマ	廃校舎の活用 (撮影スタジオくらて学園)



事業の経緯

- 平成27年 3月 鞍手南中学校が廃校(新設中に統合)
- 平成27年 4月 廃校舎活用策を公募するも良事例無
- 平成27年 6月 企画会社山重堂(福岡市)から提案
- 平成27年 7月 初のコスプレ&痛車イベント開催
- 平成28年 4月 くらて学園本格稼働
- 平成28～29年度 国活性化交付金2646万円を受ける

学園受付とオリジナルキャラ



事業の概要

事業費2906万円で電気・水道・補修を実施した。
漫画図書室・和風体験室・昭和体験室などを設営。
校舎・教室・体育館・運動場・プールなど撮影使用可。
施設一式を無償で山重堂が借用。運営費補助なし。
山重堂の常駐スタッフは2名で維持清掃も行う。
インキュベーションスペースに9社入居している。

漫画図書室 兼 大撮影会場



質疑応答

- ・本施設の強みは？
本物の学校では許可できない風景が撮影できる。
- ・コスプレ内容について規制はあるか？
クローズ施設でありできるだけ自由にさせてる。
コスプレイベント時には基準を周知している。
- ・主な収入は？ 収支はどうなっているか？
コスプレイベント参加料(1000円)と施設貸出料。赤字ではないがぎりぎりの経営。

風船で装飾された教室



事業効果

- ・閉校中学校舎をイベント活用することにより、地域の明るさを生み出している。
- ・石炭と農業が中心であった地域の、新しい重点施策になっている。
- ・インバウンドを進めており、海外への出店や外国人レイヤーを招集。集客も良好。

所感と光市政への反映

- ・集客は多いものの町内に宿泊施設がないので、目に見える経済効果が少ない。
- ・地域の人と一緒に築き上げる取り組みが欲しい。
- ・民間活力を活用した公共施設の利用方策として参考になる。